

**単元（題材）目標**

○障がいについての理解を深め、お互いを尊重できる思いやりの心を育てる。

（１）実施時期

5月中旬

（２）対象（学年等・人数）

第1学年 235名（*本校では、毎年第1学年が、この学習を行っている）

（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭 第1学年担任（各学級にて実施）

（４）実施内容

- ①導入 本校技能吏員さんの紹介を行い、本時の学習の目的を説明する。
- ②VTR『手話ってすごい』視聴
ワークシートの記入を行う。
内容・どのようにして音を覚えるのか。
 - ・どのような時に困るのか。
 - ・どのような工夫をして生活しているのか等。
- ③手話体験（班で活動）
 - ・手話や指文字のプリントを参考にし、あいさつを試みる。
 - ・指文字で自分の名前を伝えてみる。
- ④まとめ
VTRや本時の活動を通して学んだ事をワークシートに記入する。

（５）成果〈子どもの学び〉

- 耳の不自由な人がどのような時に困り、どのような工夫をして生活をしているのかを知ることができた。
- 本校技能吏員さんとの関わり方について知り、今後実践しようという意欲をもった。
- 「わかりたい」「伝えたい」という気持ちが大切で、お互いその気持ちになることが必要であることを学んだ。
- 後日、技能吏員さんに手話でコミュニケーションをとっている生徒を見かけた。小学校の副校長先生がよく朝会等で手話をしていて、今回の授業でそれも思い出したとのことだった。

（６）その他〈子どもの感想〉

- 「目」だけを頼りに、言葉、動き、音を理解するのは、とても難しいだろうなと思いました。その上で、身の周りにそういった人がいたら力を貸してあげたいと思いました。
- 簡単な手話からおぼえて、手話を使えるようになりたいです。
- 伝えたい気持ちが強ければ相手につたわるのかなと思いました。
- 手話って楽しそうだった。いつか手話を使って会話をしてみたい。
- 障がいのない人よりもすごい努力をしているのだと思った。